

小樽南ロータリークラブ会報

1960年創立
昭和35年2月5日

19

2022年1月21日発行
通巻 第2963号



2021-2022年度 RI第2510地区目標

- 世界に奉仕を 地域には感謝を
- 不忘感謝先人偉業

今週1月21日誌のプログラム

●休会

来週1月28日誌のプログラム

●休会

再来週2月4日誌のプログラム

●休会

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第18回例会報告(1月14日誌) ●クラブアッセンブリー

■ロータリーソング【我らの生業】

■会長挨拶【野村会長】

1月は四大奉仕のなかの職業奉仕の月間です。当たり前のことですが、奉仕のなかで職業奉仕が一番身近な奉仕であります。自分自身の生活の手段ということだけではなく、社会のなかで有益な存在として評価されるという使命感を持つことが、ロータリーとして大切にされます。

また、この目標達成のための具体的な方向として、「四つのテスト」が設定されています。改めて、「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」よくよく考えてみますと、この四項目、なかなか難しい徳目とも思いますが、このことを意識し努力することにロータリーの意義があると存じます。

■幹事報告

●昨日、小樽市の新型コロナウイルス感染数が10名で道内の感染者も328名です。

また、オミクロン株の感染者の増えているので、1月14日から開始予定でした昼食について小樽市の感染者が0名になるまで提供を延期致します。例会は、今までと同じく食事券を発行いたしますので、引き続きよろしくお願ひ致します。オミクロンの急感染拡大のため、今後の状況によっては休会もありえると思います。尚、ZOOMでの参加者は、食事券は発行いたしません。

●本日、午後6時から予定していた「定款及び細則の見直し検討会」はコロナの状況をふまえて延期します。

■会員結婚祝【1月に結婚記念日を迎える会員】

1/22 加藤



■出席委員会

令和4年1月14日(金)

会員総数 59名 本日の欠席者 15名
石川、上野、菊池、工藤、斎藤、佐藤(公)、佐藤(友)、佐藤(勉)、鈴木、林、保知、前川、宮川、山谷、山下
リモート出席者 3名
米山、大田、小原

■メーキャップ

1/14 大淵

(P.H.F)

③寄付に対する負担感の軽減(単年度の他、複数年度で寄付募る)

④認証の考え方の整理(過去の認証の考え方との整合)

⑤前回寄付から3年から5年経過した会員への寄付依頼

※今年度の財団(日本)の目標

150ドル/1人(60人で9千ドル⇒約100万円)

※当クラブの現状

松浦会員から昨年12月に30万円の寄付受理、財団へ送金済)

(2)ポリオプラス基金への寄付(一般会計からの予算措置)

・会員個人から寄付については、前述のとおり。

・ポリオプラス基金への今年度の寄付額を決定し、会員個人からの寄付の不足分を当クラブの一般会計予算から充当し、当該基金への寄付とする。

※今年度の財団(日本)の目標

30ドル/1人(60人で1,800ドル⇒約20万円)

■SAA 前川委員長



SAA委員長を拝命し、前期が終了しました。コロナ禍、オミクロン株など、コロナ禍は終息が見えない中、下期に突入しました。下期は上期コロナ禍により、食事提供が行えませんでした。ウイズコロナを目指し、感染対策を十分対応し、食事提供する予定であります。集合密を避け、食事時間を多くとり、バイキング方式で提供という、実施を計画しました。食事時間を多くとり、又テーブル席を決めない自由席とする事で密を回避します。(コロナの状況により変更する可能性あり)

SAAメンバーから意見がでていたのは、メニュー要望で和食メニュー提供の取り込む要望も検討したい。又、例会終了の時間厳守をある程度明確にしてほしいという課題がでてきた。(例会プログラムとの連携)

野村会長の基本方針の4つの活動目標にそり、例会充実が会員増強につながる例会運営を下期も進めていきたい。



■まごころ箱 いつも有難うございます!

野村会員 中山広報、情報委員長、毎例会ズームの設定ありがとうございます。

加藤会員 結婚祝。

高木会員 家内の誕生日祝、有難うございます。

濱本会員 下期もご協力よろしくお願ひします。

京谷会員 今年もよろしくお願ひ致します。

併せて、ロータリー財団への寄付などへの協力、よろしくお願ひします。

佐藤会員 お先に失礼します。

小笠原会員 お先に失礼します。

入金集計額

【令和3.7.2~
令和4.1.14】 1月14日分
13,500円

合計 679,500円

クラブアツセンブリー

■例会運営委員会 濱本委員長



当委員会は例会プログラムと真心箱を担当しています。

上期はコロナ感染症の影響で数回の休会がありましたが、野村会長、桂幹事を始め会員の皆様のご協力により、コロナ禍ではありましたが例会、真心箱とも概ね順調に終わることが出来

ました。

下期においては例会プログラムはコロナ禍の状況が続いているので、様々な制限がありますが、出来る限り充実した例会プログラムを企画、実施したいと考えています。また真心箱については引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■会員親睦委員会 阿部委員長



上期は、新型コロナによる影響で委員会開催もままならない状態でした。例会場の運営は、オーセントホテルのご協力により感染対策も徹底していただき問題なく運営できたと思います。飲食を伴う例会は制約を受けましたが、昨年12月17日に、会員に限定した懇親会が開催できたのは幸いでした。

下期に入り、新たな変異株のオミクロン株が急速な蔓延を見せており予断が許されません。会長以下役員の方々の皆様のご協力をいただき、会員各位のご理解を頂きながら、例会受付はじめ可能な限りの会員親睦に資する活動を委員会メンバーとともに進めてまいります。

■会員組織委員会 廣瀬委員長



昨年の12月10日に、開かれた第一回増強委員会において、新会員を受け入れる側の、当クラブの運営のあり方について、皆様に再度アンケートを実施することが決まりました。その後の理事会において、井手会員からアンケートの内容について、

アドバイスがありまして、修正を加えた上で、配布させていただきます。当クラブの在籍数も60名を切る状況です。皆様の貴重なご意見を参考にし、会員増強に取り組んで参ります。また今後行われる「未来ビジョン策定会議」にも生かして行きたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。またこれとは別に、新入会員に関する情報がありましたら、会長もしくは当委員会メンバーにお伝えください。よろしくお願いたします。

■広報情報 中山委員長



広報情報委員会では、会報の発行、ホームページ・SNSの更新、zoomの配信を行ってきました。毎回の会報発行が盛さん一人にお任せしているため委員会として発行できる体制を検討したい。

コロナの感染の終息が見えない状況なので、zoomも例会担当委員会と連携をしながら継続していきます。

■出席・退会防止委員会 拝田委員長



- ・上期 理事会決定により100%出席でした。
- ・下期 2022年1月より通常通り出欠を確認します。しかしながら、ここに来て新型コロナウイルス感染再拡大の兆候があり、また変異株の広まりも懸念されております。

会員の皆様におかれましてはご自身の健康状態に留意しながら、またzoomを活用しながらの活動をよろしくお願いいたします。

■奉仕委員会 斎田委員長



クラブ後期の活動について、まだまだコロナウィルス・オミクロン株の感染拡大が見逃せない中、田中職業奉仕委員長、山下社会奉仕委員長、佐藤友美国際奉仕委員長、井手青少年奉仕委員長、京谷ロータリー財団委員長を中心に5つの奉仕委員会

共に当初の委員会目標・計画を少しでも予定通り実行できるように頑張っていたきたいと思います。

我がクラブの松浦第6グループガバナー補佐の主幹する「第6グループI・M」の3月19日実施に向けて、松浦ガバナー補佐指導のもと、野村会長並びに三役と協議の上、1月～2月に実行委員会を何回か開催し、「I・M」の開催クラブとしてしっかりとI・M開催の準備と段取りをして行きたいと思っております。会員皆様のご協力をよろしくお願申し上げます。

■職業奉仕委員会 田中委員長



年当初の計画は、卓話と企業訪問ということで進めて来ましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が再び広まり始めていることを考慮し、卓話のみの実施ということで計画しております。

内容につきましては、職業奉仕は、ロータリークラブにおきまして根幹を担う内容ですので委員会内で熟考し決めて行きたいと思っております。

■社会奉仕委員会 三栖副委員長



上期の委員会活動につきましては、潮まつり、敬老会等、例年での奉仕活動が、中止とのことで、交通安全運動の参加を想定しておりましたが、それも十分な活動を行えませんでした。

下期については“小樽雪あかりの路”への協賛等を予定していますが、オミクロン株の影響下、見通しのつかない有様です。集まらず、黙しての社会活動とは...

今後は、各委員会とも連携して奉仕活動を模索していきたく思います。

■国際奉仕委員会 佐藤友美委員長



主な活動として、
① 米山奨学会への寄附
② 小樽商科大学への寄附
③ 小樽商科大学 国際交流サークルとの交流

を、予定しておりました。現在のところ、①米山奨学会への寄附が完了しております。皆様のご協力のおかげで72万円寄附する事が、でき

ました。
ご協力ありがとうございました。
今後は②例年通り10万円の寄附③にしましては国際交流サークルへの支援を検討しつつ、コロナ感染の社会情勢を考慮しながら検討してまいりたいと思っております。なるべく例年通りの活動を継続すると共に、何かと制限があり活動も難しいところですが活動実施に取り組む所存です。

■青少年奉仕委員会 井手委員長



青少年奉仕委員長の井手信治です。今期は、継続後援事業としてのポエムコンクールへの協賛を終え、今月には小樽市ブックスタート事業に助成金の拠出をする予定です。また、2月4日に本委員会において最大の活動である小樽市内高等学校優秀

卒業生表彰を滞りなく開催することであります。既に各高校からの表彰者の推薦を頂いており、表彰の品物の手配も進めております。コロナの心配はありますが、当日の会場準備等を会員の皆様の協力を頂き、式を無事に終えたいと思っております。宜しくお願いします。4、5月頃には“インターアクトクラブ創設への研究”として双葉高等学校ボランティア部と交流の機会を持つ予定で考えております。

■ロータリー財団委員会 京谷委員長



1 上半期の活動の総括
・今年度の活動計画として、次の3つを設定
①財団への寄附を募ること。
②ポリオ撲滅の寄附活動を行うこと。
③財団の活動への理解を深める例会を企画すること。

・活動の総括
②について、10月24日の世界ポリオデーに併せて、寄附依頼、集金
寄附金額の集計(35人から、36,000円)
③について、11月12日の当クラブの例会卓話の中で、ロータリー財団の取組みや寄附について説明
2 下半期の活動目標・計画
(1)年次基金への寄附について
寄附の目標額を設定し、以下の点について整理し、具体的な取組を進める。
①寄附への理解
②寄附実績ゼロ会員の解消・認証ゼロ会員の解消